



伝えよう 自分の気持ち

門真市立北巣本小学校

教科

自立活動

単元名

人物の気持ちを表す言葉

本時のねらい

- ・気持ちを表す言葉があることを知る。
- ・気持ちを表す言葉の分類をする。
- ・気持ちを表す文章を考え、書く。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・スプレッドシートやスライドを活用して、情報を収集したり共有したりする。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・Googleスプレッドシート
- ・Googleスライド

本時で育む主な情報活用能力

A-STEP1, L-STEP2
J-STEP2, E-STEP1

該当番号の詳細内容は

「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none">・本時の学習内容をつかむ。 学習課題 「人物の気持ちを表す言葉を知り、使ってみよう」・学習課題をもとに、本時のめあてを設定する。	<ul style="list-style-type: none">・スプレッドシートを用いてめあて共有し、学習の見通しを立てやすくする。
展開 (25分)	<ul style="list-style-type: none">・「うれしい」「かなしい」「いらっしゃる」「くやしい」など色々な言葉を考え入力する。・クロームブックで気持ちを表す言葉を調べる。・スライドを使用して、それぞれの気持ちを表す言葉を分類する。・「うれしい・たのしい」「悲しい・不安」「イライラ・くやしい」・上記の言葉を使用した文章を考える。【写真1】	<ul style="list-style-type: none">・キーボード入力が不得意な児童がいるので、音声入力や手書き入力で支援する。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none">・それぞれが書いた文章を共有する。・スプレッドシートにふりかえりを記入する。	<ul style="list-style-type: none">・学びが蓄積されていき、いつでも、どこでも学んだことが確認できる。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】スプレッドシートを活用して、めあてを入力し、共有している様子



【写真2】楽しい、うれしい言葉などを考えて、スライドにまとめている様子



【写真3】本時の学習をふり返っている様子

児童生徒の反応や変容

- ・文字を書くことに抵抗がある子どもも、自分に合った方法で文字入力することによって、「先生こうやんな」「これでいい?」など、試行錯誤しながら文章を考える姿が見られた。
- ・「めあて」を自分一人で考えるのが苦手な子どもも、スプレッドシートで共有することで、「私もこれにしよう。」と、参考にして書くことができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・「めあて」や「ふりかえり」を書くときに、友だちの記述を参考にしている子どもがいた。その場で友だちの記述内容を参考にできるというICTの強みが出た。
- ・音声入力や手書き入力など、キーボード入力ができないても、ICTを活用することで、学びを進めることができる。